

平成16年3月5日

国際FJ級 ユーザー 各位
国際FJ級 ビルダー 各位
国際FJ級 セールメーカー 各位

日本FJ協会理事長 澁谷有人

国際FJ級クラスルール2004年改定に係る対応について

今回の国際FJ級クラスルールの全面改定について、既に英文と日本語訳を本協会Webサイト(<http://www.fj-japan.org/>)にて公開しているところですが、先般、平成15年度理事会を開催し、日本では平成16年4月1日より発効することとなりましたのでお知らせします。それにともない移行措置を設けましたので、本協会としての見解と共にお知らせ致します。

記

- INTERNATIONAL FJ CLASS RULES 2004(国際FJ級クラス規則2004)は、日本においては平成16年4月1日より発効する。
- 当面の間、次の移行措置を設ける。
 - セール(平成16年3月31日以前の計測証明書を有するもの)を新ルールに合致させるために改造する場合は、セールの識別表記はC.10.2(a)によらず、新たに付け替える必要はない。新たな基本計測の後発行される計測証明書にこのことを明記する必要がある。

3 今回の改定に関する日本FJ協会の見解

(1) クラスルール改定の要点

今回のルール改定は、ISAFが2003年の方針により、国際クラスのスタンダードクラスルールを作り、それに基づいてIFJOとISAFが協議して、これまでのクラスルールを出来るだけ変更しないように書き直したものである。従って、文章の構成や用語が大幅に変わったため全く新しくなったような印象を受けるが、実質的な改定箇所は多くない。

新ルールでの寸法は、現在使用されているセールやハルの数値から大幅な変更がないように配慮されている。

最も影響があるのは、昨年改定されたメインセールのフルバテン化である。そして、FJクラスルールは、オープンルール(クラス規則で明確に禁止されていないものは全て認められる)であることが示されたことである。

(2) 計測について

ISAF公認の国際クラスについては、計測は、ISAF EQUIPMENT RULES OF SAILING FOR 2001-2004(ERS)によって行われる。(さらに、セールについては、ISAF Guide to Sail Measurement 2001-2004による。)

したがって、旧ルールでは、FJ級独自の計測方法がルールの中で示されていた

が、新ルールではすべて ERS どおりに計測することとなり、計測ポイント、計測方法、数値等が変更になった。また、用語についても ERS に従って変更になり、新ルール中には定義されていないので、ERS を参照する必要がある。これら用語の日本語訳については、旧ルールでは、日本 FJ 協会が独自に訳してきたが、新ルール（既に、2003年改訂のメインセールの規定から）では、JSAF が訳した「セーリング装備規則 2001-2004」(<http://www.jsaf.or.jp/keisoku/ERSJ.PDF>)の訳に従うこととする。

(3) セールについて

フルバテンの採用については、2003年4月改訂の規定からの変更はない。
計測ポイントが追加された。

- ・メインセールの4分の3幅(Three-Quarter Width)
- ・メインセールとジブのトップの幅 (Top width)
- ・スピナーカーの2分の1幅(Half Width)

特に、スピナーカーの計測方法の違いに注意する必要がある。旧ルールに従って日本で使用されているものよりセール面積の大きいものが許容範囲に入る。

(4) 艇体について

ガンネルの幅が、最大 90mm になった。

旧ルールでは、デッキのある場合は最大 50mm、デッキのない場合は最大 90mm である。ヨーロッパではデッキのない艇も多く、ガンネルの幅が片舷で 40mm 大きくなることによる効果はさほどでもないことから、以前より最大 50mm の規定をやめて 90mm に一本化する方向ができていた。現行の艇に較べて安定性など性能面で一線を画すという程のことではない。

日本の艇は、ガンネル幅が 50mm としてデッキアレンジや艇体重量バランスが設計されており、高いレベルで完成されている。オープンデッキで 90mm のガンネルを持つヨーロッパの艇と較べて性能面で遜色はない。

かえって、現行モールドをガンネル幅だけ変更して対応することは、艇体重量の増加や艇体強度の不足（ガンネルやハルの亀裂等）を招くこととなり、望ましくない。それでも 90mm の最大幅を持つ艇を作りたいとなれば、トータルにデッキアレンジを設計し直す必要があり、十分な検討の時間を要すると思われる。

(5) 装備について

スピナーの長さの計測方法が改訂された。新ルールでもマスト前面からポールの先までが 1625mm であるが、ポール金具の端から端までを計測する。

パドルが 1 本になった。長さは 900mm 以上となった。

電子機器は時計 2 個のみ許され、デジタルコンパスは認められない。

アンカーの搭載を義務づけるのは、大会要項でなく帆走指示書で指示することとなった。さらに、もやいロープでなく、曳航用ロープの搭載が義務づけられ、レース中は使用しないものとされた。このためアンカーロープとの兼用は認められない。

(6) その他

帆走指示書による本クラス規則の変更は出来なくなった。

以上